

新しく見つけた「まるゆ」の写真

戦時中、朝鮮機械製作所で製造していた潜航輸送艇、通称まるゆ。朝鮮機械製作所やそこで製造されたまるゆについて、わたし自身まだまだ勉強不足でわからないことも多く、資料があると聞けば、どうかして見てみたいと思っている。そんな中、ネットでまるゆと思われる写真（下左）を見つけた。初めて見た写真だったので、おそらくネットにはまだ多く出ていないのではないと思う。どこでこの写真を手に入れたのだろうか、早速写真をアップした人にメッセージで写真の出处を尋ねるも返答はなく、今に至っている。実はわたしもこの写真によく似た写真（下右）を持っている。それもネットにはまだ公開していないので、今回初めて公開するのだが、ネットに出ていた写真と見比べてもらいたい。同じ場所で撮影したことに間違いはないと思うが、いかがだろう。



撮影された時期はどうだろうか。潜水艇に向かって左側を見ると、左の写真はある程度片づけられた様子であるが、右の写真には倒れた台やパイプのようなものが写っていることから撮影時期は違うのではないかと考える。だが、これは2枚の写真が同じまるゆを写したことが前提になる。朝鮮機械製作所で製造されたまるゆは9艇、その内1艇は船体に歪みがあったことから訓練用として愛媛県三島で使用されていた。2艇は航行中に座礁し、そのまま放置されている。終戦時、朝鮮機械製作所には4艇が入港していた。ただ、4艇すべてが完成していたわけではなく、航行に向けて必要な計器や設備を整えている状態であった。残りの2艇についても浸水は終えていたが、陸上で整備中だったと思われる。入港していたまるゆには日の丸があったのに対し、写真のまるゆにはまだ日の丸（陸軍なので軍艦旗ではなく日の丸）がつけられていない。次は写真の画質をしてみる。2枚の写真を比べると、画質の差がはっきりしていることがわかる。左の写真は画質が非常によく、おそらく記録用に撮影したのだろう。右の写真は個人用のカメラで撮影されたのだろうか画質がよくない。

実は終戦直後や朝鮮戦争時に米軍が記録用に撮ったような写真や兵士が個人的に撮った写真がオークションに出されることがよくある。仁川で写した写真も例外ではなく、何度もオークションで見たことがある。わたしが今回出したのも運よくオークションで手にすることができた写真だ。オークションは珍しいものが購入できるいい機会なのだが、落札が難しい場合があるのも事実だ。わたしもこれまでに何度もほしいものを落札できないことがあった。写真はものにもよるが値段が高くなる傾向が強い。手紙や葉書もそうだが、手紙や葉書の場合は切手や消印を集めている人も多いのが影響しているのかもしれない。話が少しそれてしまったが、パズルのピースがそろっていけば、知りたいことがよりはっきり見えてくるだろう。これからも資料集めを続けていきたいと思う。